

# きさかた

豊かな自然が育む  
温かい心、  
そして明日へ。

象 潟 町  
広 報

# 11

平成16年  
2004  
No.596

## どっちが大きい？



(10月24日、農林水産業ふるさと体験塾)  
= 関連記事13ページ =

- news** 象潟町議会臨時会  
合併協議会復帰案可決 ②
- 町村合併アンケート集計結果 ③
- 台風災害(農作物)による町税の減免について ⑧
- 鳥海山にブナを植える会 植樹2万本達成! ⑩
- topics** 町のわだい、みんなのひろば ⑫
- 保健、募集、広域情報ほか ⑬
- information** 慶弔、当番医、こよみ ⑱



象潟町は空手道競技の開催地です

君のハートよ位置につけ  
**秋田わか杉国体**  
2007 第62回国民体育大会

# I nformation

■ご案内■

## 慶弔

9月16日～10月15日届け出分  
広報に掲載してほしくない方は、届け出  
のとき住民係へお申し出ください。

### 門 出

- 須 田 浩 さん(長 岡)
- 石 川 エミ子 さん(秋 田 市)
- 齋 藤 陽 将 さん(横 岡)
- 渡 邊 和 貴 さん(山 形 県)
- 佐 藤 大 和 さん(鳥の海2区)
- 須 田 史 絵 さん( 関 )
- 佐 藤 一 貴 さん(鳥の海2区)
- 竹 中 千 春 さん(本 荘 市)

### うぶ声

- 須 藤 光 くん(松ヶ丘)
- 伊 東 咲 耶 くん(大谷地)
- 村 上 彩 乃 ちゃん(立石1区)
- 金 子 由 奈 ちゃん(はまなす)
- 齋 藤 亜 胡 ちゃん(長 岡)
- 浅 野 一 太 くん(立石1区)
- 佐々木 樹木 ちゃん(鳥の海2区)

### おくやみ

- 梶 原 トキワ さん(91歳)立石1区
- 奥 山 彌一郎 さん(78歳)川 袋
- 加 藤 金一郎 さん(76歳)小砂川1区
- 今 野 亀 造 さん(100歳)下浜の町
- 越 川 タ カ さん(92歳)上 荒 屋
- 佐々木 一 次 さん(61歳)武道島1区
- 阿 曾 忠 雄 さん(74歳)小砂川1区
- 土 門 洋 子 さん(42歳)栄 町
- 佐 藤 正 さん(51歳)鳥 屋 森

## 人口・世帯の動き

平成16年9月末現在  
 世帯数 4 088 (+ 4) - 4  
 人 口 12 959人(- 4) - 144  
 男 6 221人(- 2) - 65  
 女 6 738人(- 2) - 79  
 ( )内は前月比、 内は前年同月比  
 転入... 20人(219) 出生... 5人(64)  
 転出... 21人(308) 死亡... 8人(101)  
 ( )は1月からの累計

## 11月の在宅当番医

- 3日・神坂医院 ( 43 3108 )
- 7日・さいとうクリニック ( 43 3105 )
- 14日・池田医院 ( 43 3106 )
- 21日・象潟駅前皮フ科 ( 43 5252 )
- 23日・加藤医院 ( 35 2543 )
- 28日・金 病 院 ( 43 5522 )

診察時間は午前9時～正午です。  
町医師会  
変更の場合の問い合わせは、役場  
か消防署( 38-2310 )へ

まごころ  
このほど、大石シ  
ゲミさん(鳥の海1  
区)から役場で利用  
していただいたのこ  
とで、手縫いのふき  
んと雑巾をたくさん  
頂きました。  
ご厚意ありがとうございます。

火災に注意してください  
11月7日(13日)の「秋  
の火災予防運動」期間中、  
次の時間でサイレンの吹  
鳴および半鐘を打鐘しま  
す。  
午前6時 「火災警報信号」発令  
午後8時 「火災警報信号」解除  
仁賀保地区消防本部

問い合わせ	
役場	433200
保健センター	437501
公民館	432229
町民体育館	338855
郷土資料館	432005
B&G海洋センター	436490

## 11月のこよみ

1 月	・町県民税第3期 納期限 ・国保税第4期
2 火	
3 水	・文化の日
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	・秋の火災予防運動(～13日)
8 月	
9 火	・ペットボトル収集日(指定袋)
10 水	
11 木	
12 金	・ビン収集日(指定袋)
13 土	・青空市(JA象潟支店前 13時～)
14 日	
15 月	・ねむの丘休館日(～16日)
16 火	
17 水	・カン収集日(ボックス)
18 木	
19 金	
20 土	
21 日	・第6回象潟奥の細道短剣道大会(体)
22 月	・燃えるごみ収集休み
23 火	・青空市(JA象潟支店前 8時～) ・勤労感謝の日
24 水	・燃えないごみ収集日(指定袋)
25 木	
26 金	・ビン収集日(指定袋)
27 土	
28 日	・第29回男女9人制バレーボール大会(体)
29 月	・男女共同参画社会づくり基礎講座 ・鶴泉荘休館日(～30日)
30 火	・固定資産税第4期 納期限 ・国保税第5期

# 合併協議会復帰案 可決

## 賛成13反対2の大差

10月22日、象潟町臨時議会が招集されました。今回の議案には、先の町村合併アンケートの結果を受け、「仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会への復帰につき同意を求めることについて」が提案されたほか、「災害による被害者に対する町税の減免に関する条例制定について」、「平成16年度象潟町一般会計補正予算」など議案5件と専決処分1件が上程され、いずれも可決されました。



合併協議会復帰案は記名投票により可決された

「仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会への復帰につき同意を求めることについて」は、昨年8月以降、休止状態となっていた合併協議会復帰の是非を問う町村合併アンケートで復帰賛成が過半数となったことを受けて、本臨時議会に上程されたものです。議員からは、「二町の委員は同じメンバーで、わかまりのない協議ができるのか」「決定事項である『新市の名称』『新市の事務所の位置』を覆すのは難しいのではないか」「町民への説明が不十分ではないのか」などの質問や意見が出され、横山町長は、「なぜ合併が必要なのかという原点に立ち返り、町民の意見を尊重しながら地域住民の

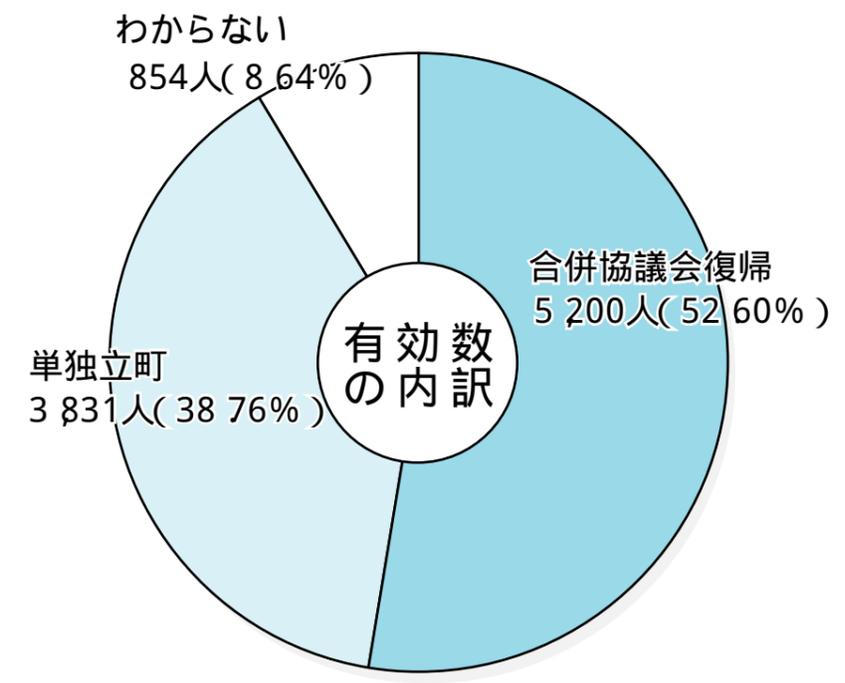
### 上程された主な議案

仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会への復帰につき同意を求めること  
去る9月末に実施した合併に関するアンケートの結果、「合併協議会復帰」との回答が多数であったことから、合併協議会に復帰することについて、議会の同意を得るため提案するもの。  
災害による被害者に対する町税の減免に関する条例制定  
災害による被害者に対する国民健康保険税の減免に関する条例制定  
去る8月20日の台風15号をはじめ、16号・18号と度重なる台風の襲来により、本町でも多大な被害を被りました。特に農作物への被害が大きいことから、被害者に対する支援策の一つとして、平成16年度の町民税および国民健康保険税について、減免措置を講じるため、条例を制定するもの。  
(詳細は8ページ)  
平成16年度象潟町一般会計補正予算  
台風15号等による被災農家を救済するため、農業災害対策資金を借り入れする農家に対して、県・町・金融機関で利子補給を行うための追加補正。  
歳入歳出それぞれに67万6千円を追加し、総額を48億9,855万円とするもの。

幸せを考えた前向きな協議をしていく」と答弁しました。  
同議案の採決は、議長を除く議員15人による記名投票で行われ、賛成13人(長谷川誠、市川雄次、佐々木正己、池田甚一、池田好隆、梶原澄夫、山田明、土井一美、高橋二郎、加藤光裕、須田鉄郎、佐々木正明、黒田直孝)、反対2人(竹内賢、佐々木弥四夫)となり、賛成多数で合併協議会復帰同意案は可決されました。町では議会終了後、合併協議会に結果を報告。象潟町の合併協議会委員はすでに辞任しているため、新委員を選任し、協議会復帰に向けて準備を整える予定です。

## 町村合併アンケート集計結果

### 有効数の半数以上が『合併協議会復帰』を選択



配布総数	回収総数	有効数	無効数
1,679人	1,249人	985人	264人
(100%)	(74.4%)	(97.9%)	(2.1%)

仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会を離脱して1年が経過しました。この間、同合併協議会は、実質休止状態でしたが、去る8月30日に第18回の合併協議会を開催し、本町が申し入れた左記の3項目を全会一致で承認・再協議するとの意向が文書で報告されました。  
これを受けて町は、本年9月1日現在で、住民基本台帳に登録されている20歳以上の全町民10,679人を対象に、合併協議会復帰を問う町村合併アンケート調査を実施しました。また、これと並行して、9月23日～25日の3日間、町内3会場においてアンケート調査の趣旨説明と町民の皆さんからご意見を伺うため、住民説明会も開催しています。  
アンケート調査の結果については、先の「お知らせ」に掲載して全世帯へ配布しましたが、本号ではその他の集計結果やアンケートでいただいた合併に関する意見等を紹介いたします。

- 1 合併協議会は理念を明確にし、前向きな協議ができる環境づくりが可能であること。
- 2 それぞれの町単位の、合併後どのような地域づくりを進めるのか、新市の建設計画に明記すること。
- 3 新市の名称と本庁舎の位置を再協議すること。

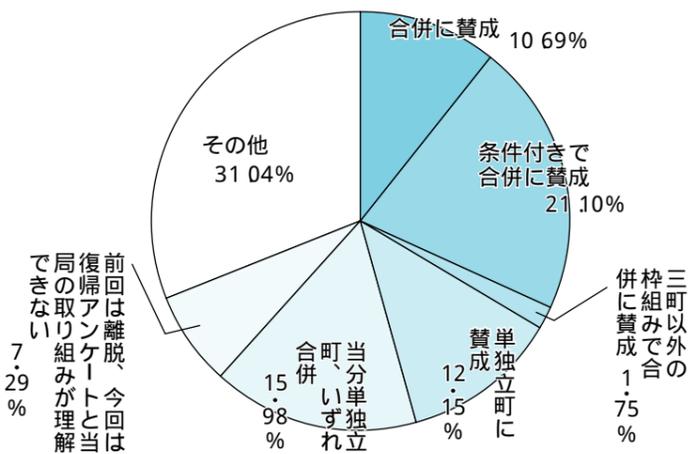
# 全回答のうち約三割の方から 意見が寄せられました

今回の町村合併アンケートでは、回答者10,124人のうち、全体で3,086件、30.48%の方から意見が寄せられました。選択別に見ると、合併協復帰が5,200人中、1,608件、単独立町が3,831人中、1,155件、わからないが854人中、225件、無効が239人中、93件でした。

寄せられた意見数のみを意見集約別に分類すると、

合併に賛成（再協議の結果、市名・本庁舎が同じでも合併に理解を示している）が330件で10.69%  
条件付きで合併に賛成（市名・本庁舎の両方、またはいずれか一方が象潟に、もしくは再協議の結果、市名・本庁舎が同じであれば合併反対）が651件で21.1%  
3町以外の枠組みで合併に賛成（由利本荘市か遊佐町、酒田市との合併）が54件で1.75%  
単独立町（もともと合併は反対、単独立町に理解を示している）が375件で12.15%  
当分は単独立町、いずれは合併（合併の必要性に理解しているもの、当分は単独立町でよい）が493件で15.98%  
前回は離脱、今回はアンケートと当局の取り組みが理解できないが225件で7.29%  
その他（合併協議会委員、合併のメリット・デメリットなどに関する意見）が958件で31.04%となっています。

意見記入数内の割合

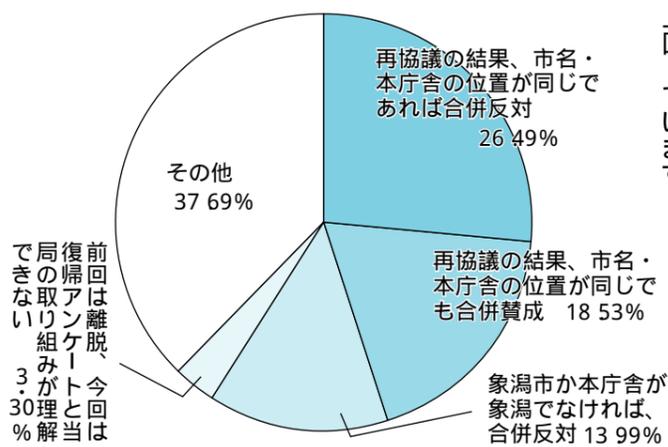


次に選択別の意見は次のとおりとなりました。

## 1 合併協議会復帰

再協議の結果、市名・本庁舎の位置が同じであれば合併反対と、「象潟市」か本庁舎が象潟でなければ合併反対が651件の40.48%を占め、再協議の結果、市名および本庁舎が同じでも合併賛成の298件、18.53%を大きく上回っています。

「1 合併協復帰」選択の意見集約



ただし、この意見の中には、次のような意見も寄せられています。市名に三町の名称は使用しないでほしい合併協議会委員を三町すべてに入れ替えて協議してほしい

立町を選択しているものの、合併への理解を示していることが伺われます。その他、次のような意見も寄せられています。

- 農協の二の舞になる
- 合併が必要だとは思えない
- 白紙撤回してから、再協議すべきだ
- 時期尚早だ
- 協議会委員を全部入れ替えるべきだ
- 由利本荘市や遊佐町、酒田市との合併を仁賀保・金浦に対して不信感をぬぐえない合併反対です。象潟町の歴史をよく考えて、町民全体で自然を生かした町づくりを考えてみるべき

激動する昨今ですが、変わらないものがあってもよい象潟という町の風土と歴史を生かした町づくりをするべき。必ずしも大きな町になる必要はない。変に開発して、この美しい町を台なしにしてほしくない。小さな町なら小さいなりの生きる道を模索すべき

財政が厳しいことは理解できるが、一時的な補助金目当ての安易な合併はすべきでない。お金がなくとも、豊かで特色のある町づくりをする方法はあるはず

金浦町に新庁舎を建ててもデメリットこそあれメリットはない。節約すべきときに町民の金をドブに捨てるような真似はしてほしくない

7割近い人が単独を選択したのに、いままらアンケートするのはおかしい。どうして当町から申し入れをする必要があるのか。町民の意向を無視するべきでない

農協・漁協は合併しても良いことなど一つもない。町も同様と思う。身の丈のことをすればよいのです



9月23日、象潟町公民館を会場に行われた住民説明会

新たに庁舎を建設することは反対どちらか一方が象潟でなければ、由利本荘市との合併を考えてほしい

時間をかけて町民の合併に対する気持ちを高めていってほしい

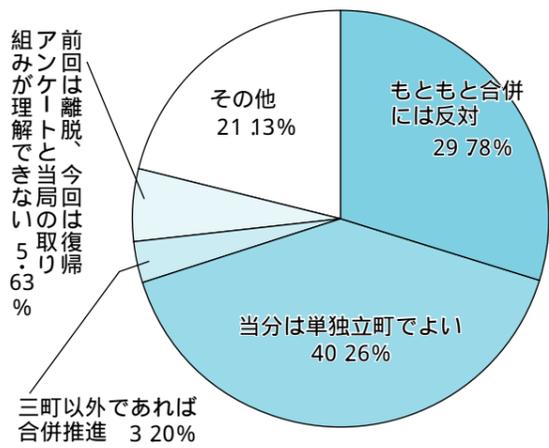
再協議されても、またもや象潟町の特性と魅力が評価されず、物取り合戦的な駆け引きが見え始めたら、その時点で別の道を歩むことにしたい

「にかほ市」は使用しないでほしい。位置はこだわらない

財政が厳しい中、金浦町に本庁舎を建設するのは税金の無駄使いだ

名称や事務所の位置は二の次。私たちの生活環境がいかに向上するかに重点をおいて協議してほしい

「2 単独立町」選択の意見集約



若い世代が希望の持てる町づくりを考えてほしい

少子高齢化を考える財政運営、若者の将来に夢を与えるビジョン、そうした計画を立てて早期に合併すべきである

三町がすべてのことにおいて、平等な条件で合併すべき。偏った条件のもとで合併しても、将来を担う子どもたちに不安と戸惑いを残すだけ

## 2 単独立町

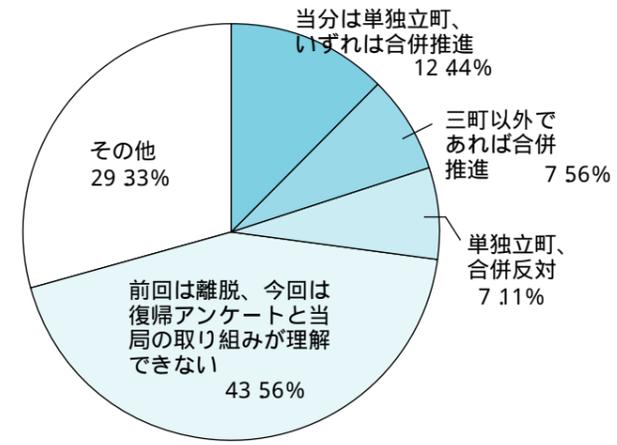
もともと合併には反対が344件で29.78%、当分は単独立町でよいは465件で40.26%となっています。

ただし、当分は単独立町でよいではあるが、市名・本庁舎の両方、またはいずれか一方が象潟であれば合併を考えてもよいが68件の14.62%あり「象潟」へのこだわりが単独

### 3 わからない

前回は離脱、今回は復帰アンケートと当局の取り組みが理解できないが98件と全体の43・56%を占めました。  
ただし、寄せられた意見225件の中には、市名・本庁舎の両方、またはいずれか一方が象潟か、象潟とは明記していないものの、条件付きながら合併への理解を示している意見が59件の26・22%ありました。

#### 「3 わからない」選択の意見集約



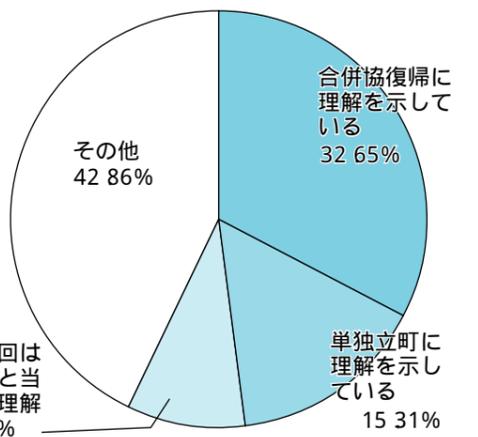
その他の意見としては、白紙撤回でない限り反対。基本的には合併は必要と思っている。基本的には合併推進だが、不信感がある

### 4 無効

由利本荘市との合併がよい農協と同じで合併すれば不便になる白紙撤回と再協議が曖昧でわからない特例償目当ての合併なら反対  
合併すると良いことがあるのですか。話を聞く象潟は借金だらけだから、合併すると借金を返してもらえないから良いのではないかと言っている。仁賀保・金浦は、象潟の借金を背負ってまで合併したいのですか？そこが分からないのです  
市になってどんなメリットがあるのか分かりません。現在建っている象潟庁舎が利用価値がないのか、あるのか分かりません

設問に対して無記入および記入が複数あったり、どれを選択したか意思不明なものを無効としたが、これら回答239件のうち、98件の意見が寄せられています。このうち合併復帰に理解を示しているものが32件の32・65%、単独立町に理解を示しているものが15件の15・31%ありました。また、寄せられた全意見中、市名・本庁舎の両方、またはいずれか一方が象潟か、象潟とは明記していないものの、条件付きながら合併に理解を示している意見が19件寄せられています。  
その他の意見としては、合併協議は、市名・本庁舎についてのこれまでの協議内容を白紙にして、協議するのであれば賛成、そうでなければ反対  
本荘由利地区は一つになったらいいと思う市名や庁舎はどこでもいい。ほかにやること山ほどあるはず。そちらに力を入れてほしい

#### 「意思不明・無効」意見集約

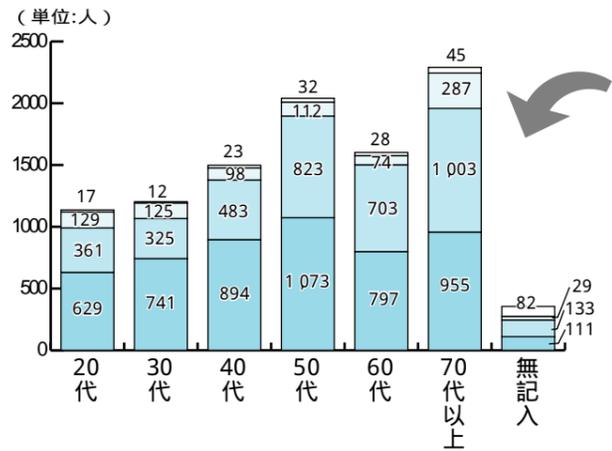
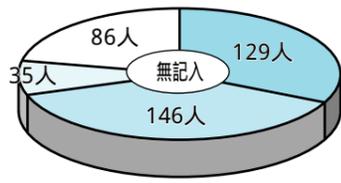
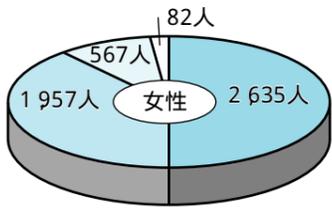
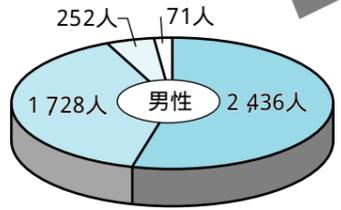


10月5日に行われた開封作業

### 参考までにご記入いただいた性別等の集計結果をお知らせします

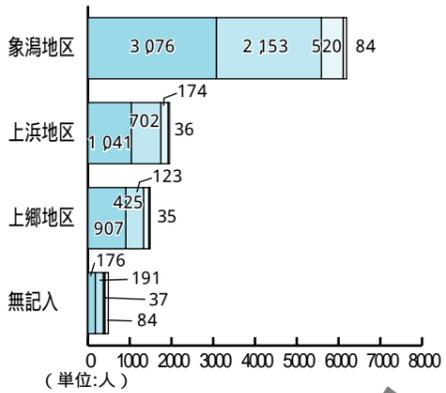
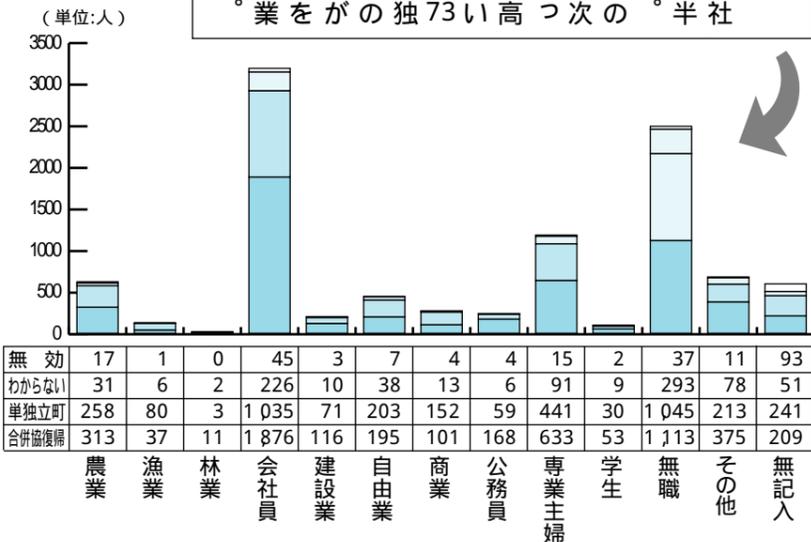
凡例

【設問2 男女別】  
有効数10,124人のうち、合併復帰の割合は男性が54・29%、女性が50・28%でやや低く、無記入のため性別不明が32・58%となっています。また、性別不明者の36・87%が単独立町を選択し、合併復帰を上回っています。



【設問3 年代別】  
年代別回答比率は、70歳以上が22・62%、次に50歳代が20・15%と高くなっています。また、合併復帰率は30歳代の61・60%が最も高く、続いて40歳代、20歳代、50歳代で、いずれも50%を超えています。逆に単独立町は50歳代以降が40%を超え、高齢になるにつれてその傾向が大きくなっています。

【設問4 職業別】  
職業別回答比率は会社員と無職で56・1%と半数以上を占めています。合併復帰では公務員の70・89%が最も高く、次に林業の68・75%となっています。回答比率の高い会社員は3番目に高い58・96%、無職が44・73%となっています。単独立町選択者で最も高いのは漁業の64・52%、次が商業の56・30%で50%を超えているのはこの2業種のみとなっています。



【設問5 地区別】  
地区別回答者は、上図のとおりですが、象潟地区が合併復帰49・67%、単独立町40・58%と他地区と比較して拮抗しています。

# 町税の減免について

台風災害により農作物に被害を受けた方を対象に、町税（町県民税・国民健康保険税）の減免を行います。

該当すると思われる方は、申請書に必要事項を記入し提出してください。

## 減免対象者は・・・

次の～すべてに該当する方です。

15年中の合計所得が1,000万円以下の方

15年中の合計所得のうち、農業所得以外の所得が400万円以下の方

本年の農作物の収入（農作物共済金を含む）が平年より3割以上少ない方

## 減免となる税額は・・・

農業所得にかかる所得割額のうち町県民税は第3期以降（特別徴収者は普通徴収した場合の第3期以降相当額）、国民健康保険税は、第4期以降の税額に別表の減免割合を乗じた金額を減免します。

別表

15年中の合計所得	減免割合
300万円以下のとき	全部
400万円以下のとき	10分の8
550万円以下のとき	10分の6
750万円以下のとき	10分の4
750万円を超えるとき	10分の2

## 申請期限と場所は・・・

申請期限 / 平成16年11月30日(火)

申請場所 / 町税務課

## 必要事項は・・・

申請書には、平成16年中の農業収入を記入していただきます。事前に準備をお願いします。申請期限までに農業収入の把握ができない場合はご相談ください。

## 問い合わせ先

町税務課（43 7502）

## みんなで考えよう 男女共同参画社会 No.6

### 象潟町男女共同参画計画 策定委員を募集します

男女がお互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画計画」を策定します。策定にあたり、住民と行政のパートナーシップを進めるため、「男女共同参画計画策定委員」を次のとおり募集します。

応募資格 本町に在住する20歳以上で、男女が支え合う町づくり・環境づくり活動に関心のある人

募集人員 若干名  
任期 11月～計画策定まで（会議は3回程度）

内容 男女共同参画計画書原案の策定

申込期限 11月15日(月)

（43 7510）

### 「男女共同参画社会づくり 基礎講座」を開催します

日時 11月29日(月)

午後1時30分～3時30分

会場 象潟町役場大会議室（2階）

内容 対話劇「あしたの風」をみんなで観ながら、感じたことや自分の体験談などを語り合います。ぜひご参加ください。

主催 象中央男女共同参画センター  
申し込み・問い合わせ先 町企画課

（43 7510）

# 第11回さかた全県少年少女俳句大会

## 3,915句の中から96句を選出

10月15日、「第11回さかた全県少年少女俳句大会」が象潟町公民館を会場に開かれました。ことし、県内の小中学生からの応募総数は3,915句。現代俳句協会県支部理事を務める結柴路山氏、宮本秀峰氏が選評にあたり、この中から選ばれた特選、秀逸、佳作の入選作96句が発表されました。大会では、入選者の表彰をしたほか、地主重子氏（現代俳句協会支部理事）による「17文字の言葉にのせて」と題した講演も行われました。ことしの特選と本町から入選した作品は次のとおりです。（敬称略）

### 【小学生の部】

特選

祭り終え道に残れり曳山やまのあと  
小野美咲子（土崎南小6年）

プールには秋の気配の葉一枚  
佐々木里菜（大曲小6年）

秋祭りやまぶつつけでもりあがる  
辻 雄汰（角館西小5年）

秀逸

こんにちにはひよっこり出てきたつくしんぼ  
伊東沙緒里（上浜小6年）

空にまっ夏一番の夜の花  
梶原美奈子（上浜小6年）

佳作

ひまわりがきれいにさいた庭のすみ  
渡辺 葵衣（象潟小6年）

### 【中学生の部】

特選

父の日になかなか言えないありがとう  
判田 真菜（南外中1年）

空振りのバットの向こう夏の空  
佐藤 健太（能代二中2年）

盆が明け静まりかえる家の中  
田村 克宏（豊成中2年）

秀逸

流星が流れる度に願ごと  
奥山 祥太（象潟中3年）

帰り道秋を感じてまわり道  
菅原 翔子（象潟中3年）

迎火に想いを寄せる祖母の顔  
佐々木伸也（象潟中3年）

佳作

台風が傷跡残し去って行く  
佐々木朝美（象潟中3年）

教室の窓からふわり赤とんぼ  
伊藤知佳子（象潟中3年）

紅葉で鳥海山は七変化  
池田 史織（象潟中2年）

風鈴の音に誘われねむくなる  
佐藤 遥（象潟中2年）

アリの列すいかめがけてやってくる  
佐々木郁美（象潟中2年）

大久保教育長から、表彰を受ける入選者たち



## TDKブナの森 協定後、初の植樹会を開催

先月21日、鳥海山にブナを植える会、象潟町と三者間で「緑の森づくり協定書」を交わしたTDK(株)でも同日、植樹会が開催されました。

協定後、最初の植樹となったこの日は200本のブナの苗木を植樹。親子連れや若い人たちも仲間同士で集まり、約180人の参加となりました。

TDK(株)では、協定期間の5年間にわたり植樹を続けていきます。今回の植樹会への参加数が予想以上に多かったことから、来年以降は植樹の本数を増やしていく、参加者の輪とブナの森をさらに広げていく計画です。



TDKでは家族連れも多数参加



記念の2万本目を植樹した  
秋田市 佐藤 正市さん  
ミエ子さん

たまたまブナを植える会の役員の方たちとご一緒する機会があり、会長たちの考えに賛同し会員となりました。以来、植樹会に参加するようになり、ことしで9回目となりました。毎年、ここの素晴らしい景色を見ながらの作業、作業が終わったあとのなべっこが楽しみのなっています。この活動を通して多くのひととの出会いもありました。ことしで74歳になりましたが、体が言うことを聞き限り参加し続けますよ。



【100年後に受け継ぐ】  
ブナ林の再生はすぐに結果の出るものではありません。しかし、この活動も今では、

平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年	平成9年	平成8年	平成7年	平成6年
1,370本	3,560本	1,453本	2,903本	2,016本	2,548本	1,890本	2,150本	1,300本	3,500本	3,500本

会だけにとどまらず、多くの学校行事としても行われるようになりました。親から子へ、そして子から孫へとこの思いは受け継がれて行き、100年後、200年後の将来に結果が現れます。ことし2万本を達成しましたが、これからその夢に向かって活動は続けられていきます。

## 植樹開始から10年 活動の輪が広がり2万本達成！！

世代を超えた思いが、豊かな自然を取り戻す



一本一本丁寧に植樹  
大きなブナの森ができることを願い作業を終えました

【ブナは自然のダム】  
ブナは、ただ山に生えている木ではありません。多くの恩恵を私たちに与えてくれています。もっとも大きな働きとして、ブナの葉の多量な落ち葉は、巨大な自然のダムとなっており、厚いスポンジ状の腐葉土の層を作り、この層が保水力を高め、雨水を溜め込むのです。そして、この水がゆっくり地中にしみ込んで、何年間も地下水として溜められていきます。ブナ林は人工ダムよりも何倍も水を溜め込む、自然のダムなのです。

鳥海山にブナを植える会は、戦後の乱伐などにより姿を消してしまつた鳥海山の広葉樹林を再生させ、環境の保全を図ることを目的として平成6年に発足しました。

鳥海山にブナを植える会(須田和夫会長)主催の第10回植樹会が10月23日、鳥海山三合目・霊峰公園駐車場付近で行われました。今回は、先月「緑の森づくりに関する協定書」を交わしたTDK株の社員らによる植樹も行われ、県内外から約320人が参加し、計700本の苗木を植えました。平成6年から始まつたこの活動は、ことし10周年を迎え、植樹も2万本を達成しました。

【2万本までの歩み】  
ブナ林の再生・復元の必要性を考へて発足した当時のメンバーは53人。発足当初は試験植樹として350本の苗木を植樹しましたが、現在の輪は大きく広がりを続けています。県内外に700人を超える会員数となり、植樹祭への参加者も年々増え続けました。活動を始め10年目のことし、苗木の植樹は2万本に達成しました。年次ごとの植樹本数は次のとおりです。

【ブナが魚を育てている】  
この腐葉土から栄養分をたくさんもらい受け、栄養分がたっぷり溶け込んだ地下水が、鳥海山ろく一帯にわき出る湧水となります。この湧水が川となって海に注がれ、海の魚を育てます。栄養分を豊富に含んだ水が、貝や魚のエサとなるプランクトンや海藻を育てているのです。

農林水産業ふるさと体験塾（秋編）  
サケの新巻づくりにも挑戦

10月24日、小学生を対象に「農林水産業ふるさと体験塾」が行われ、保護者を合わせて36人が参加しました。

これは中島台を散策しながら、緑の森と水との関わりを学んだり、サケ加工を見学したり、大根などの秋野菜の収穫体験を通して、自分が住んでいる町の農林水産業を体験してもらおうとするものです。

子どもたちは、観光案内人や漁協女性部、須田ヨノさん（関）の協力のもと、さまざまな体験をし、農林水産業に関心を持ったようでした。漁協荷さばき所でのサケ新巻加工見学では、子どもたちも作業に積極的に参加し、大きなサケの体全体に塩をすり込んでいました。



子どもたちも作業に積極的に参加。美味しい新巻ができるかな。美味

川袋川「サケまつり」  
大きなサケをつかみ採り



悪戦苦闘しながらも何とか捕獲できました

10月17日、ことして10回目を迎えた「サケまつり」が川袋地区で行われました。天候にも恵まれた当日は、町内外から多くの家族連れが訪れ、サケのつかみ採りやイクラ丼の早食い競争などで楽しみました。

メインのつかみ採りは、小中学生と大人の部に分かれ200人が参加。橋の上から家族らが見守るなか、ずぶ濡れになりながら必死にサケを追いかけていました。

同地区では、川袋川鮭漁業生産組合が、稚魚のふ化・放流事業を行い、県内の約半数にあたる2万尾以上が捕獲されています。ことは例年より10日ほど早く9月25日からそ上が始まり、捕獲、採卵や授精作業が続けられています。

中高生のつどい  
中高生が集まり意見を交わす



ボランティア活動で象潟海水浴場のクリーンアップ

青少年育成象潟町民会議で企画した「中高生のつどい」では、象潟中学校と仁賀保高校生徒が、一緒に行動したり語り合ったりする場の提供を毎年行っています。ことは10月16日に30人が参加して行われました。

ボランティアでは、象潟海水浴場周辺のクリーンアップ。やはり見えない場所にゴミが集中していたようです。昼食後、元滝散策そしてトークに入りました。トークでは、携帯電話の話題や学校への要望等が出され、中学生や高校生から普段なかなか聞けない話がこの場で交わされるなど、有意義なひとときを過ごしました。

青少年育成象潟町民会議では、今回語られたことを学校や行政に広く伝えていきたいと考えています。

受賞おめでとうございます

平成3年から13年間の長きにわたり、交通指導隊員として職務に精励され退任されました。表彰状と併せて、町からも感謝状が贈られました。



野宮 義広さん  
(砂山)

★秋田県警察本部長・秋田県交通指導隊連合会長連名表彰

昭和58年から20年間にわたり、交通指導隊員として街頭指導など、交通安全活動に取り組んでこられました。



小川 幸子さん  
(32区)

★秋田県知事表彰  
県交通指導隊永年勤続者

受賞の報告に庁舎を訪れた佐々木会長（写真中央）と佐々木健一副会長（右）



象潟水産学級（会長 佐々木一史さん）

昭和34年に漁業者研究グループとして設立。八タハタの種苗生産や産卵場造成、小中学生を対象とした体験漁業を実施しています。また、「漁港周辺での植樹活動」や「鳥海山にブナを植える会」への参画など、環境問題への取り組みも積極的に行っています。

★第24回全国豊かな海づくり大会  
栽培漁業部門―農林水産大臣表彰

昭和37年に結成され、現在会員は112人。会員一人ひとりの健康づくりや地域内施設でのボランティア活動などに積極的な活動を行っています。



大須郷寿会  
(会長 須藤春治さん)

★秋田県知事表彰  
優良老人クラブ

仁賀保地区少年弁論大会  
象潟中が5年ぶりの総合優勝



写真左から、梶原崇史君、鈴木桃子さん、遠田隼人君

10月13日、第41回仁賀保地区少年弁論大会（仁賀保地区防犯協会連合会主催）が象潟中学校を会場に開催されました。

仁賀保地区の中学校4校の代表12人が、防犯、防火、交通の3部門で身近に起きている少年非行、火災、交通事故防止について、独創的な発想で熱弁を振り、象潟中学校は、見事5年ぶりの総合優勝を果たしました。

象潟中学校からの出場者の結果は次のとおりです。

- 防犯の部 最優秀賞 遠田隼人君（1年・鳥屋森）  
「『No!』という勇氣」
- 防火の部 優秀賞 鈴木桃子さん（2年・栄町）  
「恐怖体験を通して学んだこと」
- 交通の部 優秀賞 梶原崇史君（3年・32区）  
「一生存る一瞬の傷」



**町税等徴収臨時町税吏員を募集します**

応募資格 本町に在住し、30歳以上で普通自動車運転免許を有し、自家用車を持ち込み使用することができる人  
 募集人員 若干名  
 仕事の内容 町税等を預かる業務および、それに関連する業務（休日出勤等を含む、月20日間・4時間/日程度）  
 待遇 時給900円、ほか町の規則による  
 任用期間 11月中旬～17年3月31日  
 応募方法 指定の申込書に記入のうえ、町税務課に持参ください。書類選考後、面接により決定します。  
 応募締切 11月10日水  
 問い合わせ先 申込書、詳細については町税務課（43 75 02）へ

**第29回全町男女9人制バレーボール大会**

日時 11月28日(日)  
 開会式 午前9時  
 場所 町民体育館  
 試合内容 種目：9人制バレーボール チーム編成：男4人、女5人の混成チームで、

高校生2人以内の参加を認める  
 申し込み・問い合わせ先 地区の社会体育推進員を通して、11月24日(水)まで、町民体育館（33 88 55）へ

**保健**

リフレッシュ教室  
 期日 11月8日(月)  
 受付 午後0時15分～30分  
 場所 B&G海洋センター  
 内容 水中ウォーキング  
 出前ニコニコクラブ  
 日時 11月9日(火)  
 午前10時～11時30分  
 場所 上浜地区構造改善センター  
 対象 小学校就学前の幼児と保護者  
 申し込み・問い合わせ先 11月5日(金)まで、町福祉課保健係（43 75 01）へ

**肺がん検診**

対象 40歳以上で、ことし未受診の人  
 日時 11月9日(火)  
 午後1時30分～3時  
 場所 町保健センター  
 料金 レントゲン600円、痰の検査問診の結果で必要な人1,000円  
 結核検診  
 対象 18歳以上40歳未満で、ことし未受診の人  
 秋田労働局職業安定部（018 883 007）

し未受診の人  
 日時 11月10日(水)  
 午後1時30分～3時  
 場所 町保健センター  
 料金 無料  
 幼児健診  
 受付 午後1時～1時30分  
 場所 町保健センター  
 4歳児健診  
 期日 11月11日(木)  
 対象 平成12年8月～10月生まれ  
 3歳児健診  
 期日 11月15日(月)  
 対象 平成13年8月～10月生まれ  
 1歳半児健診  
 期日 11月16日(火)  
 対象 平成15年2月～4月生まれ  
 献血にご協力を  
 日時 11月16日(火)  
 午前10時～午後3時15分  
 場所 仁賀保高校

**『食と歯と健康のフエスティバル』を開催**

日時 11月9日(火)  
 午前10時～午後3時  
 会場 東由利町黄桜の里「湯楽里」  
 「ぶれっそ」  
 内容 地域の食材を使った自慢料理の展示 体脂肪測定、食生活診断、歯の健康測定、健康相談 など

入場料 無料  
 問い合わせ先 由利地域振興局福祉環境部（22 41 22）  
**「NHKふるさと競演」大内町vs岩城町」観覧者募集**

期日 11月21日(日)  
 開場 午後3時  
 場所 出羽中学校体育館  
 出演 山川豊、キム・ヨンジャ、大内町と岩城町住民  
 観覧申し込み 入場無料。官製往復八ガキに（1枚で一人）の往信裏面に郵便番号・住所・氏名・を記入し、左記へ申し込みください。応募多数の場合は、抽選になります。  
 〒010 8501 住所なし NHK秋田放送局「ふるさと競演」係  
 締め切り 11月8日(月)必着  
 問い合わせ先 NHK秋田放送局（018 824 810）へ

**税理士による無料税務相談**

日時 11月13日(土)・14日(日)  
 午前9時～午後4時  
 場所 鶴舞会館2階学習室（本荘市）  
 申し込み・問い合わせ先 11月12日(金)まで、東北税理士会本荘支部（24 45 53）へ

**役場人事異動**

（11月1日付・カッコ内は異動前）  
**【企画課】** 課長 齋藤隆一（税務課長）  
 課長補佐兼広報係 長 細矢宗良（福祉課長補佐兼福祉係長）  
**【税務課】** 課長 齊藤俊（企画課長）  
**【福祉課】** 課長補佐兼福祉係長 木内弘安（課長補佐兼広報係長）  
**【建設課】** 施設係長 齋藤忠人（福祉課保健係長）  
**【仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会事務局勤務 企画課所属】**  
 係長 佐々木俊哉（農林水産課林務水産係長） 主任 齋藤邦（社会教育課社会教育係主任）

**あきた県民手帳の取り扱いが変わりました**  
 2005年版「あきた県民手帳」を発売中です。これまで役場・公民館の窓口で取り扱っていましたが、ことしから、町内の書店（山海堂）・コンビニ（ローソン）での販売となっております。お早めにお求めください。

11月22日(月)ごみの収集は休みです。  
 11月22日(月)は「燃えるごみの収集日」ですが、清掃センター焼却炉の補修工事のため、休みとなります。清掃センターへの直接搬入（有料）は受け入れます。  
 問い合わせ先 町民課生活環境係（43 7500）

**公共工事の入札・契約の適正化を目指して 平成16年度の『工事発注見通し』について公表します。**

工事の名称	場所	期間	工事の概要	入札契約方法	入札の時期
上浜中央地区管路施設工事	大須郷地内	約5カ月	農業集落排水事業 管路施設工事 L=1500m	指名競争入札	第3四半期
上浜中央地区水道管設置工事	大須郷地内	約5カ月	農業集落排水事業 管路施設工事 L=1500m	指名競争入札	第3四半期
上浜中央地区中継ポンプ設置工事	小砂川地内	約4カ月	農業集落排水事業 中継ポンプ設置工事 13カ所	指名競争入札	第3四半期
小砂川配水槽設置工事	小砂川地内	約3カ月	農業集落排水事業 配水槽設置 N=40㎡	指名競争入札	第3四半期
象潟町斎場建設用地造成工事	字一本木地内	約4カ月	用地造成 A=4000㎡	指名競争入札	第3四半期

**新潟県中越地震の義援金を受け付けています**

新潟県と日本赤十字社新潟県支部では、今回の地震災害により被災された方々に対するお見舞いとして寄せられる義援金を受け付けております。  
 受付期限 12月30日  
 受付場所

金融機関および郵便局  
 口座名を「新潟県災害対策本部」または「日本赤十字社新潟県支部」と指定してください。郵便局での郵便振込手数料は無料です。税法上の扱い 寄付金控除として取り扱われます。  
 問い合わせ先 新潟県出納局（025 280 5484）  
 日本赤十字社新潟支部（025 231 3121）

最近、災害義援金をかたった『オレオレ詐欺』が発生しています。ご注意ください。

さんぽみちルートの史跡、神社仏閣等を詳しく紹介！

**「きさかたさんぽみちガイドブック」販売中！（1冊550円）**

（町内販売場所）  
 ローソン/デイリーストア/山海堂/ねむの丘/シーサイドホテル/サン・ねむの木/つつみ寛洋ホテル/鶴泉荘/役場商工観光課/郷土資料館/観光案内所